

文窓の若葉

「自主・協同・責任」の精神で、たくましくしなやかに生き抜き、我が国と郷土を愛し夢と志あふれる心豊かな生徒の育成

いざ出発！宝探しの冒険へ

令和8年度が始まり1か月となりました。

89名の生徒たちにとって、学校生活は「宝探しの冒険」です。日々の教育活動の中で、様々な「宝物」を発見しながら、仲間とともに困難を乗り越えて成長していく冒険の物語です。

そして、その旅の先で、一人一人が自分自身の夢と志を手にして更なる人生の航海へと向かうのでしょうか。そのとき、応神中は彼らにとっての港となり、「最高の故郷」となるのです。

子供たちの応神中生活が充実した旅となるよう、教職員一同、全力を尽くしてまいります。一年間、どうぞよろしくお願ひいたします。



「あいさつ」と「清掃」

～築く伝統～

応神中では「あいさつ」と「清掃」を重視します。すでに学校では、生徒たちの「あいさつ」が、毎日飛び交っています。清掃活動では、きれいな学校を維持するために、目的意識をもって丁寧に取り組むことを心掛けます。子供たちの明るいあいさつや、真剣な

清掃の様子を見ると、本当に嬉しく幸せな気持ちになります。

「あいさつ」と「清掃」をさらに進化させ、しっかりと受け継ぎ、我が校の良き伝統として築き上げたいと思っています。

【保護者の皆様へ】～SNSの管理徹底を～

現在、スマホ所持率についての調査を様々な調査機関が実施しています。中には中学生全体で96.9%、中学1年生でも4人に3人は所有しているという調査結果もあります。学校現場でも、スマートフォンをはじめとする、情報端末によるSNSトラブルが問題視されています。リスク回避のためには、「持たない、持たせない」が最も安全な対策と言えますが、大人はもちろん、子供にとっても情報端末は、現状ではもはや生活に切り離せない必須アイテムとなっています。

そこで、学校では、情報モラルについての啓発、指導を徹底します。6月15日には「携帯・スマホ安全教室」を実施する予定です。各御家庭では、子供たちのSNS利用における管理の徹底をお願いします。

子供たちにとって不利益な書き込みや画像が、ネット上に一度でも不用意に発信されれば、学校での人間関係だけでなく、悪質な犯罪の被害に見舞われたり、就職や結婚をはじめ、将来にわたり深刻なリスクが発生したりする可能性があります。

お子様の安全確保を第一に考え、御家庭でのSNSの利用状況についての把握と、端末利用についてのルールづくりとその徹底をお願いします。





「型」から入る意味 ～「あいさつ」の実践～

皆さんの中には、ちょっと恥ずかしくてなかなか自分から積極的にあいさつができない…と感じている人はいるでしょうか。そんな人は、「型」から入るようにしてみてもいいでしょう。

「いやいや、心を込めない」「気持ちが伴ってないとダメだ」と言われるかもしれません。確かにそうです。しかし、慣れない事に対して、真に心を込めるのはそう簡単ではありません。そして、目に見える「型」は、決してあなどれないと思います。

いつまでも「型」にとらわれすぎていては成長しませんが、何事においても基本の形をおろそかにせず、しっかりと身に付けることは、正しいレベルアップのための土台として、とても重要です。

私は、形のない魂をそこに込めるには、「型」という器が必要だと思っています。そうでなければ、独りよがりの「やったつもり」となり、肝心の心が相手に伝わりにくくなります。相手に誤解され「そんなつもりじゃなかった」と嘆くか、自分の気持ちを読み取ってくれない相手が悪いと相手のせいにしてしまうかもしれません。

だから、例えば「あいさつ」の場面で、とにかく自動的に「人が15mまで近づいたら、『おはようございます』というセリフを声に出す」と形を決めるのです。「どうしようかな」「何て言おうかな」「どんな顔をすればいいかな」などと余計なことを一切考えないことがポイントです。距離15m、「おはようございます」「こんにちは」…これだけです。はじめは、機械的な作業でかまいません。声が小さくてもかまいません。大事なものは、その「型」をずっと続けることです。

「型」に慣れてくれば、「もう少し声を大きく出そう」とか「もう少し遠くから言ってみよう」「もう少し笑顔で言ってみよう」…などと、心を伝えるための色々なアイデアが浮かんでいきます。

そして、「型」が決まってさえいれば、自分の心の状況にかかわらず、相手に対し最低限の礼を尽くすことができます。

まずは、自分の「型」を決めて実践してみましょう。「型」があつてこそ、魂が宿るのです。そして、「型」は魂が宿ることで、美しい「所作」となります。

登下校時の交通に注意



新年度が始まって4週間。年度当初は、登下校中の自転車の事故が増えます。雨が降って、路面の滑りやすい箇所があったり、自動車に幅寄せされたりして転倒するなど、状況は様々です。

4月14日(火)には、道路交通法改正を踏まえて全学年で「交通安全教室」を実施しました。そのときに、交通安全や交通マナーの

大切さについて詳しく学びました。

1年生はまだ、自転車での通学に慣れていないかもしれません。だからこそ、安全教室で学んだことを思い出し、細心の注意を払って自転車を運転しましょう。

- ヘルメットを必ずかぶる。
- 並進をしない。
- スピードを出しすぎない。
- 車間距離を保つ。
- 道路を横断するときや、交差点に出るときには必ず一時停止して安全を確認する。

守ろう！命を守るために

万が一、事故に遭ったときには、怪我がなくても必ず学校と警察に連絡する。